

## 放射線腫瘍科 教員（助教・医学物理士）募集要項

埼玉医科大学国際医療センター

放射線腫瘍科

教授・診療部長 野田 真永

### 1. 募集概要

埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科では、国内有数の症例数と最先端治療環境を背景に、次世代の中核を担う医学物理士（助教）を募集します。

臨床・研究・教育を三位一体で推進する拠点として、高度専門職としての成長を強力に支援します。

勤務地：埼玉医科大学国際医療センター

所属：放射線腫瘍科

職名：助教（医学物理士）

募集人数：若干名

任期：5年間（6か月の試用期間あり）

### 2. 本ポジションで習得が期待されること

当院は、大学病院の中でも国内有数の症例数と高精度放射線治療率を誇ります。

特に定位放射線治療分野においては、MR リニアックおよびサイバーナイフの両装置を運用する、国内でも数少ない施設です。

本ポジションでは、こうした環境のもとで、治療計画支援、品質管理、線量評価、装置管理などの実践的業務に加え、臨床と連動した研究活動を通じて、医学物理士としての専門性を体系的に深化させることが期待されます。

### 3. 指導体制・教育環境

当科には放射線腫瘍医 9名、医学物理士 5名が在籍し、診療・研究の両面において充実した教育体制を構築しています。

臨床経験が十分でない方に対しても、上級医学物理士が中心となり、段階的かつ継続的な指導を行います。

多職種との密な連携を重視しており、チーム医療の中で専門性を発揮できる環境です。

#### **4. キャリア形成・研究・国際活動支援**

当科では、治療専門医学物理士資格および医学博士号の取得を積極的に奨励し、研究指導体制や学会発表機会の確保を通じて、専門性と研究力の両立を支援しています。また、当院は国際原子力機関（IAEA）の Anchor Center に選定されており、国際研修、共同研究、教育活動などへの参画機会も提供しています。国内外を視野に入れたキャリア形成が可能な環境です。

#### **5. 求める人物像**

当科では、チーム医療を尊重しながらも、自ら考え主体的に行動できる自律性を備えた人材を求めていきます。既存の枠組みにとらわれず、新たな視点や改善提案を積極的に発信し、将来的に組織の中核を担う存在として成長する意欲のある方を歓迎します。

#### **6. 応募資格**

- ・医学物理学の知識を有し、臨床および研究に意欲のある方
- ・医学物理士資格取得者、試験合格者、または 2026 年度医学物理士認定試験受験予定者（※入職後 5 年以内に資格取得が必要です）
- ・1994 年（平成 6 年）4 月以降に生まれた方

#### **7. 待遇**

経験・能力等を考慮し、本学の関係規定に基づき決定します。

#### **8. 応募期間・着任時期**

応募期間：令和 8 年 1 月 29 日～令和 8 年 2 月 6 日

※応募期間が非常に短いため、期限内の応募が難しい場合は、下記問い合わせ先までご相談ください。

着任時期：令和 8 年 4 月以降（応相談）

#### **9. 提出書類・応募方法**

提出書類：履歴書 1 部（自由書式）

応募方法：下記問い合わせ先までご連絡ください。

## 10. 問い合わせ先

〒350-1298

埼玉県日高市山根 1397-1

埼玉医科大学国際医療センター

放射線腫瘍科 平井 隆太

Email : rhirai@saitama-med.ac.jp

以上